2020年（令和2年）10月1日
くげぬま探求クラブ

会報 くぐひ

第103号（秋号）

◇　くぐひ（鵠）は白鳥の古い呼び名。鵠沼には昔たくさんの白鳥が飛来したことによる　◇

第44回公民館まつり中止によせて

世話人代表 奥村 誠

ご承知の通り今年の公民館まつりは6月26日の公民館まつり実行委員会の席上で実行委員の票決の結果、中止されることになりました。残念な事ですが新型コロナ感染防止対策の影響でこの様な結果となりました。

「くぐひ」の春号でも紹介しましたが、当クラブは歴史的に一番関わりの深いのが公民館まつり実行委員会で、歴代の世話人代表が実行委員会のメンバーになっております。

実行委員会に先立ち5月末には藤沢市より公民館まつりの実施に関する大まかな指針が示されました。要は①3密を避けること、飛沫感染防止の観点から飲食の提供はダメ。②その制約のもと、全面休止ではなく、公民館まつりの趣旨（サークルの成果発表）を踏まえた形態での実施に向けて進めていきたい。③公民館まつり実行委員会の意見も踏まえ検討して欲しい、というものでした。

6月26日の実行委員会では、この指針に沿って出来るものがあるのではという意見もありましたが、大幅にイベントが減ることになり人が集まるとは考えにくく、モチベーションが上がらない、音楽関係では練習場所の制約で事前の練習が出来ない等々の問題が指摘され中止が決定されました。

当日の実行委員会では最初の議題として本年及び来年の役員の改選がありました。その結果、委員長に当クラブ員の田中章さんが就任されました。長年の鵠沼公民館評議員として公民館活動に貢献された結果であると思います。今後のご活躍を祈ります。

公民館まつり実行委員長就任に際して

田中 章

上記奥村代表からの報告にありますように、先日開催された令和2年度第1回鵠沼地区公民館まつり実行委員会にて実行委員長を拝命いたしました。また、副委員長、会計、幹事については公民館長から推薦があった以下の方々を私から委嘱しました（敬称略）。

副委員長：小林祐子（サークル交歓会）
　　浅野朝子（鵠沼地区社会福祉協議会）
会計　　：古川京子（鵠沼地区交通安全母の会）
　　佐藤眞知子（鵠沼東地区民生委員児童委員協議会）
監事　　：斎藤光久（鵠沼海岸商店街振興組合）
　　鈴木孝俊（鵠沼海岸二丁目自治会）

この実行委員会は我がクラブをはじめとした鵠沼公民館を拠点に活動するサークルのみならず、地域の各種団体の代表30数名が委員となっており、私自身は長谷川元保さんの後任として数年前から鵠沼公民館評議員会の委員を務めて参りました。今回私が推挙されたということは、長谷川さん及び探求クラブ員の皆さまの長年に亘るまつりへの貢献が評価されたものと存じ、お引き受けすることにした次第です。

第1回鵠沼公民館まつりは1977年2月25～27日に開催され、今年で第44回目を迎える予定でした。この伝統あるまつりが新型コロナウイルスの為中止となったことは誠に残念でありますが、例年1万人もの地域の住民が集うこのまつりを来年は盛大に実現できますことを願っております。その為に微力ながら全力を尽くす所存ですので、クラブ員の皆さま、何卒宜しくお願い申し上げます。

［特集］新型コロナウイルスで自粛のなかの部会活動

「鵠っ子囲碁・将棋ルーム」

河村　英二

令和元年度の活動を締める３月（15 日）の「春のトーナメント大会」が開催中止との公民館の保子さんより電話が有ったのは 2 月 25 日でした。例年通り、1 月の活動日には保子さんが事前の開催案内を子供たちに説明。同月の末には市の広報に掲載する公募記事の内容の確認等、調整準備を整えていた矢先でした。併せて「市が主催する不特定多数が集まる行事は、基本的に本年度中止とのこと」の付言があり、本内容を奥村世話人代表にも発信しました。

４月開催中止の情報は 3 月 26 日に公民館に様子を伺いに出向いたところ、印刷し終えたばかりの同ルームの年度活動表に棒線がひかれていました。

5 月・6 月・7 月・8 月の各月の中止の経緯は、4 月 23 日、世話人代表からメールが入り、藤沢市の HP に 5 月・6 月市の公民館行事の月間表に開催中止の事業が記載されていて、「鵠っ子囲碁・将棋ルーム」が該当する旨連絡が有りました。7 月の月間表では「おもちゃの病院」が開催中止と出ているが、当ルームの記載がない。公民館に確認されたいとの追記がされていました。翌日に公民館にその旨問い合わせしましたところ中止事業に追加されました。

5 月 8 日公民館から「7 月より公民館の使用が可能の状況、その場合はルームは再開するか」の打診の問い合わせが有り、即開催すると返事をしました。ところが、5 月 25 日には、7 月・8 月開催中止の連絡が有りました。常連のメンバーにはその都度、メールで連絡を取り合いました。

まもなく公民館使用の中止が伝えられサークル全体の活動ができなくなりました。

〈チェスクロックの購入〉

毎年支給される市の助成金はトーナメント大会の諸費用に当てがわれ、ほぼ消化していました。今回の大会中止に伴い代替策としてチェスクロック 1 台の購入に充てることにしました。本件は、中止が決まってから、常連メンバーとメールで意見交換をして対象を絞り、7 月の例会で了解を貰う手順を踏みました。

「藤が谷公園愛護会」

鈴木 実

今年になってから聞きなれない言葉が次々に耳に入り、高齢の身にとってはなかなかついてゆけない感があります。例えばパンデミック、ロックダウン、クラスター、ソーシャルディスタンス、エッセンシャルワーク、〇〇 アラート等々・・・。地球規模で新型コロナウイルスが暴れまくっており、首都圏のベッドタウンである藤沢市でも毎日感染者が報告されています。ご多分に洩れず探求クラブの大半の部会が活動できない状況に追い込まれています。クラブ憲章のなかに“すすんで地域のボランティア活動をします”という項目がありますが、実際したくても出来ないというのが現状で、3密を避けてとの新生活様式下では活動もままなりません。

そんな中にあって公園愛護会は何とか活動を続けています。公園活動のボランティアはどちらかというと一方通行で双方対面通行のボランティアと違い、相手の反応を感じられないところがあります。しかし相手が目の前にいないということが活動を続けられることとつながっていると言えます。外出自粛の中、時には外気を体いっぱい吸ってストレスを発散しなければ肉体的にも精神的にもいいはずがありません。在宅勤務の方も多いのでしょうか、平日でも子供さんを連れたお父さんもお見掛けします。公園の役割って何だろう、そしてどうあるべきか考えることがあります。利用する目的は様々でしょうが、公園でひとときを過ごされ満足してまた来ようネというような公園になればと思います。

コロナ禍に加えて自然災害に追い打ちをかけられたような日本列島ですが、立ち直れる状況に早くなればと思います。人類が自然を破壊し続けていることは事実です。近年サルやクマ、イノシシ等が人里に出没し被害が出ている話をよく聞きます。人間が開発しすぎて居場所を取られたのでしょう。思うに新型コロナウイルスも本来はおとなしくしていたいのに安住の地を奪われ、アチコチへと動きだしたのではないでしょうか？話がそれてしまいましたがワクチンが早く開発されコロナ禍の終息とともに平穏な日常が戻ることを祈っています。

「ヤングハーツ」

小山 和彦

2月21日の藤沢病院訪問から新型コロナウイルスの影響が出始めました。当日、待機中に全員の体温測定がありＯＫとなって会場入りという状態でした。翌週の鵠生園（デイサービス）は外来者の訪問が禁止となって中止となり、3 月の公民館主催の「春のコンサート」にも久しぶりに参加申し込みをして出演を楽しみにしていましたがこれも中止。加えて公民館施設利用中止が発表になって、月初練習もストップになってしまいました。

毎月曲を替えて楽しんでいただくために月初練習は欠かせません。何回も演奏してきた曲とは言ってもそこはアマチュアの集まり、おさらいを兼ねて当月と翌月の曲を練習しておかないと、ぶっつけ本番ではとても無理なのです。

6 月初め嬉しいことがありました。探求クラブからヤングハーツ訪問先である鵠生園、藤沢病院に不織布マスクが贈呈されたことです。入手困難の状況が多少は緩和された時期ではありましたが両施設から大変感謝されました。

6 月後半になって公民館の利用が条件付きで再開となりましたが、ヤングハーツにとってはこの条件は大変厳しいものでした。利用定員の半減、マスクの常時着用、歌唱禁止というものです。マスクの常時着用は呼気によって演奏するメロディ部のハーモニカ、フルート、オカリナが不可、さらにボーカルグループの歌唱ができず、全体練習が出来なくなってしまいました。

今は 7 月末、8 月も利用条件は変わらないということで活動休止が続いていますが、ここへ来てまた感染者が増え、第 2 波の襲来の様相を呈していることからこれからもしばらくは活動休止が続きそうです。“唄を忘れたカナリヤ”になってしまって“後ろの山に捨てられたり”しないように自主練に励みながら再開を待つことにするしかありませんね。

「おもちゃの病院」

池田 雄一

5 月下旬に、公民館からおもちゃの病院開院について打診があった。6 月は公民館関連の行事が全面的に中止、7 月は市の対応は未定だが、開院するとしたら広報掲載原稿の締切が近いためということであった。この時は感染状況が多少落ち着いたこともあり、病院メンバーとメールでやりとりした結果、従来の対面修理はやめ、入院（お預かり）のみとして開院することに決定した。

直ちにコロナ対策用備品として遮蔽用ビニールシート・手袋・マスク・フェイスシールド・消毒液（公民館で準備）等の入手に奔走した。手袋はメンバーからの情報を頼りに店巡りが続いた。フェイスシールドはクリアファイルで作る情報をもらったが透明なものが見つからず、少々手間取った。

7 月 12 日、5 か月ぶりに開院。いつもに近いメンバーと公民館のＨさんも応援に駆けつけてくれ、全員でやや戸惑いながらもシートの張り方、受け付け手順の確認、換気等の対策を施して開院した。

来院は少ないだろうとの予想は見事に覆り、次々とやってくる来院者を、受付担当と初診ドクターがビニールシートを張った入り口でマスク・手袋・フェイスシールドに身を包み汗だくで対応した。長引く自粛生活の中、開院を今か今かと待っていたのであろう。開院して正解であったと思う次第。

2 回目の 7 月 26 日は前回の反省を踏まえて、受付を通路に複数の窓口にして対応することにした。時折りの大雨の中を来院者が続々とやってきた。

おもちゃの病院の良さはこのような非常時でもあてにされ、退院時の嬉しい顔に触れられることに尽きる。まだまだ、コロナの終息が見えない状況だが今後も感染対策を充分に行って続けていきたい。

最後に、公民館の皆さんには、開院にあたって多大なる協力をいただいたことを感謝申し上げます。

「似歌会」

細田 均

似歌会は探求クラブ員以外のゲスト 3 名を加えて 13 名で活動している。おおむね 10 名が出席、3 名が投句である。会では一人 3 句ずつ持ち寄った句を清記し回覧。各人がその中から 4 句選句、選者数が多い句の順に選句した人が理由、感想を述べた後で作者が趣旨を説明しながらいろいろと意見交換をしている。その間若干のお酒とつまみで和気あいあいと楽しい議論がされるほぼ 3 時間の会である。

今年の 1 月に部会長の米倉さんが急逝され、急遽部会長を引き受け 2 月の部会は皆さんのご協力を得てどうにか部会を開催することが出来た。

その後コロナが流行りだし 3 月から自粛が始まって以降会場の原町内会会館が使用できず 7 月現在まで休会を余儀なくされている。

毎月兼題を決めてそれに合った俳句を持ち寄って句会を開くのだが当然開催月によって季語が変わってくる。延期されても皆さんが詠んだ句が極力無駄にならないように 3 月、4 月、5 月は「帽子」「陽炎」6 月、7 月は「帽子」「蝸牛」8 月は「帽子」「菖蒲」といろいろ兼題を工夫してきた。

7 月現在感染はますます拡大している。出席人数は 10 名ほどで座席はソーシャルディスタンスと言われる 1～2m 間隔は取れるのだが飲食を伴う 3 時間ほどの長い会になる。また、いろいろと意見交換する上に高齢者の集まりでもあるので会場の使用可否以外に今後は感染防止対策が十分とれるか等考慮したうえで会員と相談の上開催を決めたいと思っている。

次回開催時には皆さん自粛中で十分な時間がありますので知恵を絞り推敲をかさねた良い句が出来てくると期待しているところです。

「農園部会」

鶴田 貞夫

今年は3年間の畑の契約が新たに申し込みとなる年で、その結果が出るまでは心配の時期を過ごしました。併せて新型コロナの騒ぎが勃発して別の心配事が発生することになりました。お陰様で畑は前と同じ区画を借りることができ新型コロナについては戸外活動でいわゆる3密は避けられるので本来の農園部会の活動が出来るようになりました。

まずは土づくりが肝要です。堆肥と苦土石灰を一緒に表面にばらまきシャベルで出来るだけ深く耕し下層土を空気にさらすようにする天地返しです。天地返しの後 4～5 日して土を砕きながら化成肥料（８・８・８）を全層に混ぜ込むように耕します。続いて育てる野菜の種類によって畝幅を 100～120cm とします。

春の植付トップはジャガイモ。畑を深く掘り植え溝を空けて 30cm 間隔で植え付けます。

1つの種芋から複数の芽が出てくるので草丈 10cm くらいのころ生育の良い芽を 1～2 本残し、後は付け根から芽かきをし、追肥します。2～3 週間後に 2 回目の追肥をし、6 月の中旬の天気の良い日に掘り起し日陰で乾燥させます。採りたてをふかしてバターをのせてホクホクと食べるのがたまらないご褒美です。ジャガイモの次は成長の早い大根、カブ、春菊、コマツナ等の根菜類、葉物野菜の種蒔きです。この頃から畑の見回りと水撒きが必要になり 4 日ごとの交代で当番制を実施しています。作物は手をかければかけるだけ結果で応えてくれます。

次は5月の連休頃に農園部会の活動のメインイベントである夏野菜の植付を実施します。トマト、キュウリ、ナスの支柱立てと誘引、脇芽かき、追肥、ズッキーニの雌花への受粉作業、トウモロコシの一本仕立てへの植替え等大忙しになります。夏野菜の収穫も順調に進みつつありましたが今回はカラスとハクビシンにトウモロコシとトマトを 2～3 個づつ食べられてしまう事件が起きました。そのためにトウモロコシと枝豆を収穫時期以前の分まで収穫せざるを得ない状況に追い込まれました。またトマトの網掛けと釣り糸回し掛けを実施しました。しかしながらコロナ禍のなかでも新鮮な無農薬野菜を育てることができる場があることに部会員一同感謝している現状です。

私こういうものです　新入会員の自己紹介です。会員数は 53 名になりました

塙（はなわ） 泉（いずみ）さん

1939 年 東京・下北沢に生まれまして、結婚するまで同所に住み、その後は社宅などを経てから鵠沼藤が谷に住んで今年でちょうど 50 年になります。

仕事は「トラックの開発」をやっておりまして、寒冷地における試験、熱帯地域での試験など、いろいろ体験するとともに「怖い思い」もいたしました。

趣味はジャズ、ビンテージ・カー、ビンテージ・バイク（残念ながら所有はしておりません）でして、ジャズは中学生の頃からかれこれ 65 年聴いております。

本年はじめ、鵠沼公民館に行く用事があり、たまたま手にした「くげぬま探求クラブ」のパンフレットを見せて戴いたら、各部会の紹介がありまして、その中で「おもちゃの病院」と「なつかしの名盤愛好会」に興味を惹かれました。

さっそく、見学をさせて戴いたところ、「おもちゃの病院」は電子技術の知識が要求されるようで、ちょっと躊躇しておりますが、これから先輩方に習って勉強してゆきたいと考えています。

「なつかしの名盤愛好会」は、音楽にまつわる知識豊富な方々の集まり。私はジャズのみならず、もっと普遍性のある音楽にジャンルを拡げてゆく必要を感じました。

仲間に入れていただいたので、一生懸命活動いたしたく、なにとぞよろしくお願いいたします。

地域活動部会紹介

「子どもと遊ぶ会」探求さんと遊ぼう!!

玉田 英二

「探求さんと遊ぼう!!」の案内ポスターが鵠洋児童館ホールの掲示板に掲げられています。平成 13 年 1 月から毎月第 2 土曜日の午後、児童館に来る児童に昔遊びをテーマとし手作りによるおもちゃを子どもと一緒に楽しく作っています。テーマは、4 月の「パズル変わり絵」に始まり「手づくり凧あげ大会」「ＣＤで作るコマ」「流しそうめん」「竹で作る水鉄砲」「輪ゴム鉄砲」「わんぱくまつり／焼き芋」「ミニ門松づくり」「紙トンボ」「ぶんぶんゴマ」「紙吹き矢」と多彩ですが、時代や子どもの年齢に合わせ少しずつテーマの見直しもしています。この活動は、来年の 1 月には満 20 年目を迎えることになりますが、最初に立ち上げられたのは故人となられた宮澤彰さんで「子どもと遊ぶ会」の初代部会長でもありました。

今では活動範囲も広がりを見せています。鵠南子どもの家（ひょっこり鵠南島）で行われる四季折々のイベント（記念祭、七夕まつり、Xマス、豆まき、etc.）への協力も継続されています。また、片瀬小学校で行っている“うぐいす笛作り”も特筆すべきことかもしれません。これも宮澤彰さんから始まった行事で、4 年生になった児童全員が参加する総合学習の一環として手作り工作で“うぐいす笛作り”を体験するのです。この行事には探求クラブ員の協力のもと 12、3 名で 9 グループに分かれ、竹を加工しノコギリ･ナイフ･ドリルを使用して自分の手作り笛を作りあげます。完成後には工作室からはピィー、ピィー、ピィーと笛の大合唱が始まります。お昼には子どもたちの教室に招かれて給食をいただきます。

クラブの皆さん、子どもたちと触れ合うことで少年の時のような若さを蘇らせましょう。そしてこの「くぐひ」をお読みの皆様、老若男女を問わずゲスト参加をお待ちしています。

親睦研鑽部会紹介

「談話室」

池田 修

毎月 1 回、クラブのこと、世間のこと、自分のこと、年金、借金、謝金、謝礼、IT、スマホ…、たまには昔話もする。部会長はテーマを決めないので、参加者（10 人弱）は、その時々の成り行きで多弁になり、寡黙にもなる。仲間うちで話しをするのはクラブの原点だから、面白い。みなさんに、暇つぶしに談話室を覗くことをお勧めする。

談話室のデビューは、クラブ創立の 3 年あと。当時は話し好きの会員が多かったのかその後ずっと続いたが、いつのまにか開店休業状態になって、全く鳴かず飛ばずになっていた。長い空白を見かねて平成 24 年に、長老の某氏がにわかに復活運動をした。その意を汲んで小山和彦会員が再開の部会長に就任、その後気鋭の田中力会員が、けん引している。

政治向きの話しは、賢明な会員ばかりだから自己規制して少ない。宗教の話しは全く出ない。ただ、油断をすると健康ばなしが浮上するが、続いて開催される「極楽部会」（嶋村堯敏部会長）に移管されることになる。実りの無い話しばかりかと思いそうだが、瓢箪から駒のごとく、最近では、25 周年記念時の公民館補修・清掃作戦、世話人選挙方法改革などの実績もある。そろそろ 30 周年記念行事の企画案が出そうで、これには田中部会長が意欲的だ。

この 2 部会の会場は鵠沼マリンロード商店街唯一の貸席「高松」。新型コロナ禍で貸席のスペースを、本業のブティックのスペースに替えられてしまい、会場が無くなる懸念が出てきた。気楽によもやまばなしをするのが会の性格なので公民館では気分が出ないが、このようなところを探すのは難しい。談話室の喫緊のテーマだ。

コロナ下の我が家の断捨離

田中 力

先のくぐひ編集会議にて当該コロナの状況での話題の中で我が家の断捨離の話から皆さんから推挙されて恥ずかしながら投稿いたします。

以前から娘にうるさく言われていた家の中にモノが多すぎる！という事で 4 月から 6 月にかけて日を空けて 3 回、娘家族が孫ともどもやってきた。孫の顔見たさに私自身は大歓迎だが家内からするとうるさい娘が来るとボヤいていた。

まずは玄関先の靴入れから。私の物は数足だが家内の物はなんと 20～30 足の不用の靴、ブーツ、サンダルなどがザクザク、私は家内と娘が喧嘩しながらの仕分け作業を遠巻きに見る。2 回目は洗面室。洗面台下の洗剤、シャンプー類、化粧品などの整理。下着ケースを撤収し家内と私のそれぞれの部屋へ移動、風呂上がりの動きがゆったり出来るようになった。

（次頁へつづく）

3 回目は台所である。流し台下の不用な鍋、ボウルなど廃棄、そして一大作業は食器棚内の普段使わないグラス、皿、コップ類、特にサウジで購入した大理石製のコップやマレーシアの錫製の皿、英国の紅茶セットなどなど思い切って不燃ごみへ。

玄関先に出す不燃ごみも何回かに分けて出し（家内が、近所の目があり恥ずかしいと）一緒にペットボトル（お茶）と共にゴミ収集の人へお礼の一言を添えて。

これで大分スッキリしてきたが大きな問題が残っている。クローゼットに押し込まれた私の現役時代からの服と家内の山の様な服の数々（これが一番の問題！）4 回目に娘達が来るその時は、私は一時避難せざるを得ないと覚悟している。

「断捨離」とはヨガの「断行、捨行、離行」から生まれた言葉との事。

「断」は入ってくる要らないモノを断つこと、「捨」は家にある要らないモノを捨てること、「離」はモノへの執着から離れること。（これが一番難しい）今原稿を作成中の私の部屋の周りを見回してもまだまだ要らないモノに溢れている。

コロナもまだまだ終息しない！ゆっくりと断捨離していこう！

シリーズ

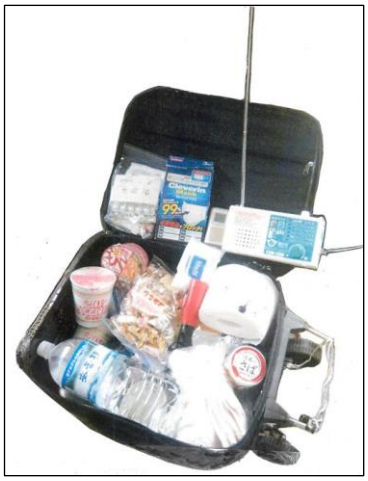
我が家の災害対応作戦（その 5）

野村 時男

我が家は、鵠沼海岸から数百メートルと海に近く、津波襲来の恐怖感が大いにあります。

従って、避難所が先ずは一番大切と考えております。1位は自宅から300mで避難出来る湘洋中学です。数年前、生徒の増加と津波対策を合わせて、4 階建の校舎が建造されました。屋上もあります。市の見解では、津波の最大は、6m と予想しており、先ずは「避難場所しては、大丈夫」とのことです。2 度程、避難場所としての見学会に参加して、まあまあ安心しました。次は、自宅に用意してある非常用品です。

① 玄関の棚に避難時の持ち物を運ぶ車付のキャリーバッグ中身です。…マスク、手ぬぐい、水、インスタントラーメン、わかめごはん、乾パン、雷おこし、飴、常備薬、ラジオ、スマホ充電器等です。昨年 2019 年、藤沢市防災ラジオから台風 19 号の避難勧告が突然放送され、早速、湘洋中学に避難しました。1 階の図書室でした。毛布、水分等一切出ませんでした。水、雷おこし、飴、ラジオが時間つぶしに役立ちました。椅子を並べて睡眠しました。この経験からもう一つのキャリーバッグに寝袋を用意しました。次は自宅で役立つ非常用品です。



② 2 階上の屋根裏の収容品…簡易トイレ、排尿・排便収集専用ビニール袋、非常用トイレ凝固脱臭剤、トイレットペーパー、ティッシュペーパー、水、インスタント食品、雪かき用プラスチック大シャベル、車チェーン、空水タンク、プラスチックカップ、小型ガスストーブ、カセットガスコンロとガスボンベ等

③ 庭の物置の収納品…大型ストーブと灯油、炭コンロと炭、簡易トイレシート等です。

④ 庭の壁…水道水を入れた 1.8 リットルのペットボトル 20 本程、以上です。なお、非常食品は 6 ヶ月程、薬、灯油は 2 年程と保存期限があり、入替が結構大変ですね。西尾のわかめごはんは保存が 5 年です。この機会に保存品を再チェックします。

私の災害対応は不勉強でいい加減ですので、この記事を読まれた方は、至らない事項を是非教えて下さい。

～例会・各部会活動報告～

6月　June

◇例会 休会(新型コロナウイルス感染対策)、例会資料は配付
◇行事 ①10日開催予定のボウリング大会は新型コロナウイルス感染対策のため中止
◇世話人会・委員会 ①世話人会 オンラインによる臨時世話人会12･18日開催 ②メディア委員会 休会 ③くぐひ制作部 オンラインで開催 ④ＨＰ制作部 休会
○鵠沼松が岡公園愛護会 7日16名 清掃
○藤が谷公園愛護会 *14日6名 清掃 *23日9(1)名 愛護会メンバーのみで花壇の花植え
○18日農園部会 7日7名ジャガイモ収穫 夏野菜手入れ
○スケッチ部会 4(1)名 遊行寺でスケッチ
○ヤングブラザーズ 13日練習休会 27日「合唱を愉しむ会」として開催17(7,先生1)

以下の部会は新型コロナウイルス感染対策のため休会
○ヤングハーツ　○おもちゃの病院
○子どもと遊ぶ会　○鵠っ子囲碁・将棋ルーム
○災害研究部会　○極楽部会
○サロン会　○健康部会
○探訪部会　○カラオケ部会
○談話室　○デジタル情報部
○近代史を語る会　○企業研究部会
○なつかしの名盤愛好会　○俳句の部会「似歌会」
○おひる探Q会

7月　July

◇例会　5日 新型コロナ対策の上､公民館ホールで開催出席者43名､新会員候補:塙の入会承認｡納涼会中止を了承｡今後の会費徴収についての臨時総会を9月に開催｡公民館まつりは中止が決定｡
◇行事　なし
◇世話人会・委員会　①世話人会 臨時22日オンライン､定例29日 ②メディア委員会 休会 ③くぐひ制作部7日 103号編集方針､公民館で開催 ④HP制作部 休会
○鵠沼松が岡公園愛護会 5日14名 清掃 反省会ﾅｼ
○藤が谷公園愛護会 12日12(1)名 清掃
○おもちゃの病院 預かりのみ12日/26日 12(2)/10(2)名 来院10/7名 新患19/4件 退院5/3件 当日完治0/0件
○災害研究部会 3日8名 小川さん講話等
○農園部会 5日 7名 小動物の害のため早めに収穫
○スケッチ部会 16日 4(1)名 室内スケッチ
○デジタル情報部会 27日10名 アプリ等の紹介

以下の部会は新型コロナウイルス感染対策のため休会
○ヤングハーツ　○子どもと遊ぶ会
○極楽部会　○鵠っ子囲碁・将棋ルーム
○サロン会　○健康部会
○探訪部会　○カラオケ部会
○談話室　○ヤングブラザーズ
○近代史を語る会　○企業研究部会
○なつしの名盤愛好会　○俳句の部会「似歌会」
○おひる探Q会

8月　August

◇例会 1日 新型コロナ対策の上､公民館ホールで開催出席者39名 9月臨時総会議案の説明等
◇行事　なし
◇世話人会・委員会　①世話人会 ②メディア委員会 休会 ③くぐひ制作部 12日公民館で開催103号推敲 ④HP制作部 2日オンラインで開催
○鵠沼松が岡公園愛護 2日16名 清掃
○藤が谷公園愛護会 9日9名 草刈り､清掃等
○おもちゃの病院 預かりのみ 9/23日13(1,公民館1)　/10(2,公民館1)名 来院13/30名 新患9/21件 退院0/3 当日完治0/1件
○農園部会 2日7名 夏野菜収穫､秋野菜準備

以下の部会は新型コロナウイルス感染対策または夏休みのため休会
○ヤングハーツ　○子どもと遊ぶ会
○極楽部会　○鵠っ子囲碁・将棋ルーム
○災害研究部会　○サロン会
○健康部会　○探訪部会
○カラオケ部会　○談話室
○スケッチ部会　○デジタル情報部会
○ヤングブラザーズ　○近代史を語る会
○企業研究部会　○なつかしの名盤愛好会
○俳句の部会「似歌会」　○おひる探Q会

( )内はゲストの人数

クラブ短信

くげぬま探求クラブ HP 一部改変　2015年に会員専用として開設された、「思い出の一枚」、「掲示板」が廃止された。どちらも会員専用とするためログインが必要でこれが敬遠されたか、投稿者、閲覧数ともにあまり増えず、最近は投稿が途絶えていた。一方で、昨年12月に、奥村さんがスマホのLINEオープンチャットを利用した「くげ探広場」を立ち上げた。廃止となった両コーナーに代わるべきもので、簡単に参加でき、トークの他、画像、動画、ファイル等もアップできることから使い勝手もよく現在24名が参加して活発に情報交換している。PCからも参加可能とのことで未だの方は是非参加ください。

ビフォア・アフター

クラブ活動に生きる活力をもらって

佐々木 黎治

池田勇人首相の「所得倍増論」と同時期に、郵政省の外郭団体の新聞を皮切りに、5社の様々な業種の新聞制作に携わり、結局これが終生の仕事となった。

最後の会社で20年間の編集を経て55歳から60の定年までは、印刷の制作部に回された。「鉛からコンピューター制作」へ移り変わる瞬間である。コンピューター化されれば文選工は不要になる。当時文選工は現在でいう非正規雇用であった。この人々を解雇しなければならない。その首切り役にされたのだ。夜遅く帰ると妻に泣かれた。解雇された十数人の奥さん方から恨み節の電話が何本もかかってくるという。言葉がなかった。

ちょうど56年前の東京オリンピックの年に結婚、本鵠沼3丁目に住居を移した。オリンピック関連で細い農道や田畑を鵠沼新道として完成したばかりであった。長久保公園への散策、引地川の土手の土筆摘みなど住みよい鵠沼を感じ始めた16年前、妻が病で死亡、これを機に本鵠沼から鵠沼海岸に移住した。

探求クラブとのつながりは、同じマンションに住み当時は探求クラブ員であった高須賀さんから「俳句をやるなら」と同じクラブの故野口昌久さんを紹介してもらった。平成24年6月のことで、ちょうどクラブ創立20周年の記念行事の準備が盛んにおこなわれていた頃だった。俳句の会「似歌会」もこの年の4月に出来たばかり。

入会のお許しが出ないまま、6月から3か月ゲストで似歌会にお世話になった。誰に頼まれたわけでもないが、6月号からA5判表紙を入れ8ページの小句誌「似歌会」を作成して部会の皆さんに配った。眼病がひどくなるまで6年余続けていた。おかげで9月の入会時には数々のクラブ活動に感動し、また大半のクラブの皆さんとお近づきを得ることができた。

似歌会はもとより松が岡公園愛護会、近代史を語る会、災害研究部会、くぐひ編集委員、カラオケ部会。クラブ主催ボウリング大会、そして公民館まつり、その一つ一つにクラブ員との温かいつながりが楽しく、独り身の老人にとって得難い時間でありライフスタイルとなっている。

編集後記　コロナ禍はわがクラブにも大きな影響を与えた。多くの部会活動やイベントが中止となり、全員が集まる機会でもある例会も大幅な制約を受けた。本号ではそのような状況によりコロナ関連の記事が誌面の半ばを占めるに至った。
巻頭には奥村さんと田中章さんが今年の公民館まつり中止のいきさつを執筆。６つの部会の代表にはコロナ自粛のなかでいかに活動を行っているかをご披露いただいた。
定番記事として「部会紹介」には玉田さんが「子どもと遊ぶ会」を、池田修さんが「談話室」を紹介、「我が家の災害対応作戦」には野村さんが投稿、「ビフォア・アフター」には佐々木黎治さんが登場。「自由席」には田中力さんが「私の断捨離」を投稿した。新入会員紹介の欄には塙泉さんが登場した。
くぐひ制作部の編集会議は公民館で開催できるようになったが、恒例の「飲食付き反省会」が半年以上行われて居らず闊達な意見交換の場を失い喪失感が漂っている。　（塩爺）

会報　くぐひ　第103号
2020年10月1日
発行 くげぬま探求クラブ
発行人 奥村 誠
編集長 塩川 昌男

「くげぬま探求クラブ」はあなたの入会をお待ちしています。
「会社人間から社会人間へ」を目指す方々は「発行人の奥村」までご連絡下さい。
ホームページアドレス　http://kugenumatankyuclub.web.fc2.com/
「くげぬま探求」または「鵠沼探求」で検索してください